



お元気ですか！

志村 たかよし です

第754号 2015年8月30日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

250mの超高層ビル2棟、教育委員会軽視… 八重洲一丁目6地区・二丁目1地区「再開発計画」を批判



城東小学校正門



東京駅前の二つの地区の位置図

城東小学校が犠牲に！ 超高層オフィスビル計画

7月27日に開かれた中央区都市計画審議会で、「八重洲一丁目六地区」と「八重洲二丁目1地区」が審議されました。

東京駅前の巨大再開発計画がいよいよ動きだします。

この計画には、問題点が多々あり、地元周辺の方たちから批判の声が上がっています。

特に尋常でないのが、城東小学校の敷地を再開発のために提供して250mの超高層オフィスビル

建設を可能にし、なんと！小学校をオフィスビルの中に移転させようという計画です。

教育委員会には事後報告

私は審議会で、「八重洲二丁目1地区」の敷地の約3割を占める城東小学校の敷地が提供されなければ再開発が実現できないが、「教育委員会がかかわった時期はいつなのか」と質問したところ、

東京駅を背に、八重洲通り右側が八重洲二丁目1地区。ここに250mのオフィスビルを計画しているのです。ビルの後ろには城東小学校があります。



担当課長は、09年3月であることを明らかにしました。

すでに、02年9月に「東京駅前南地区まちづくり検討会」が開かれ、08年12月には「八重洲二丁目北街区再開発協議会」で、小学校の敷地をあてにした計画の報告がされています。



八重洲通り左側の八重洲一丁目6地区



その後、四ヶ月もたつて教育委員会がかかわったのです。

また、小学校をオフィスビルの中に設置する計画について、教育委員会の議題となったのはいつなのか質問したところ、12年11月であることがわかりました。

これも、五ヶ月前の12年6月に「八重洲二丁目北街区再開発準備組合」で報告された後のことです。

オフィスビル内小学校の子どもへの影響について検証せず

子どもたちをオフィスビル内の学校に閉じ込めることについて、医学的、教育的な悪影響が心配されます。私は「子どもへの影響について検証したのか」と質問しましたが、検証していないことを区は認めました。

国際競争力強化のために、子どもや学校が犠牲になってはなりません。教育委員会には、学校や教育の改善・充実について重要な役割があるにもかかわらず、今回の計画が教育委員会軽視、再開発主導で進められていることをきびしく批判しました。

同意率が低く合意得られていないのに国家プロジェクトで権限強化

「八重洲一丁目6地区」計画には、反対する地権者もあり、「都市計画案の同意率」が、73・7%と低すぎるなど、十分な合意が得られているという状況ではありません。

地元の方たちは「八重洲一丁目の街並みが特色のない街になり、『八重洲一丁目』という観光地が失われる」と危機感を持っています。

にもかかわらず、この計画を「国家戦略都市計画建築物等整備事業」にエントリートし、「国家プロジェクト」として認定されました。

需要予測もたてずに

バスターミナルを計画

これによって、安倍首相を責任者にして国や企業の権限強化がはかられ、地権者の財産権が奪われることになります。

バスターミナルを地下に13バース計画していますが、利用台数の将来的な需要予測をたてていないことが

わかりました。

「国家プロジェクト」になった大きな理由にバスターミナルの整備があるのですが、どの程度バスが利用するのかが予測もたてていないまま作るので、あきれてしまいます。

環境への悪影響は必至

大量の大型バス誘致の結果、排気ガスの増加による環境悪化が心配です。

250mの超高層オフィスビルが2棟建設されれば、東京駅への風道がさえぎられ、ヒートアイランドの影響が深刻になるでしょう。

あわせて、八重洲の巨大開発ビルの重みにより、東京駅の地下水位の上昇も危惧されます。

このように、多くの問題をかかえる計画は認めることはできません。

経済至上主義、国際競争力強化のためのまちづくりは、見直す時が来ているのではないのでしょうか。

私は、都市計画審議会で、これらの問題点を指摘し、二つの計画に反対しました。

「意見」「要望など」お気軽に「連絡ください」(03-5561-0000)